

みんなで笠郷地域のまちづくりを考えよう！

「仮称」笠郷地域創生自治町民会議 設立準備委員会の検討報告

設立準備委員長（区長会長）大橋 徳法

笠郷地区では、「仮称」笠郷地域創生自治町民会議（以下、「自治町民会議」という。）の平成28年4月の設立を目指して、各区長・公民館長・各種団体の代表者等による設立準備委員会を組織し、各種の検討を進めています。

今回は、部会会議で協議した内容をお知らせします。

総務部会で検討内容

- ・笠郷公民館・笠郷社会福祉協議会は現状のまま運営する。組織の位置づけを今後の課題。
- ・昨年実施したアンケートの結果を重視し、出来るものから取り組む。
- ・情報の共有を図り、住民に周知徹底・毎月の回覧「友愛」で情報提供。
- ・住民の意見を反映するため、自治会館に意見箱を設置する。

安心・安全部会

- ・災害時の際、笠郷地区の住民の避難場所の周知徹底を図る。
- ・連絡網の必要性を図る。自治会単位で「特に一人世帯・障害者・老居老人の理解を得る。」

環境・美化部会

- ・野焼きは、民家の近くでは燃やさない。回覧等で住民の協力を得る
- ・ビニール等のゴミは、絶対に燃やさない決められた回収日に出す。
- ・看板を設置し、住民の理解と協力を求める。
- ・笠郷地区一斉に日時を決め町の協力も得ながら地域周辺の清掃活動を実施も検討
- ・資源ゴミの当番性の廃止は、まだ定着化が図られていないため、当分は続けることが必要。
- ・犬の糞対策は、啓発活動を推進。

教育・文化・商工部会

- ・資源ゴミの回収は、各自治会の協力を求めて地域ぐるみで対応することが必要
- ・三世代交流も含めて健康増進を図る目的で歩け歩け大会を実施したら。
- ・子供支援対策として、子供達がのびのびと遊べる公園・遊園地の開放。
- ・挨拶運動の推進「大人も子供も率先して挨拶実行」地域が笑顔あふれる町づくりを目指す。

健康・福祉部会

- ・「いきいきサロン」高齢者が気軽に立ち寄り会話できる施設の提供を。
- ・地域での高齢者対策を地域ぐるみで考える対策が必要。
- ・地域で高齢者に声かけ運動の実践
- ・福祉委員の必要性 地域の自治会長が兼務を図る。
- ・各地域の自治会長が情報を共有し、地域の連携を密に図ることが必要。

1月30日 土曜日 {笠郷地域創生自治町民会議学習会を開催}

笠郷自治会館研修室に於いて100名以上の住民が集まり、地域の組織・自治町民会議の役割・町づくり・人づくりについて四日市大学副学長の岩崎教授のご講演をしていただきました。地域の事は地域で決め実行し、行政と協働を図りながら町づくりを目指し、そこに地域の絆が生まれ地域の活性化が出来る内容のお話でありました。